

平成30年度企画展 I

地図を持って 出かけよう!

石井更幸コレクションに見る 内房の交通と観光

大正の広重・吉田初三郎の
千葉県三部作が
勢ぞろいですって!
これは見ないと♪

東京12区
観光地案内図
(国鉄株主優待用)

東京中心
鐵道地圖

入場
無料

8月4日[土]~10月14日[日]

関連
イベント

第148回袖ヶ浦学
「地図製作へのこだわり
—峰庫治の世界—」

9月30日(日) 13:30~ 定員40名
講師: 千葉市立郷土博物館学芸員
若菜 三郎 氏

展示解説会

8月11日(土)・9月1日(土)・
10月13日(土) 11:00~

石井更幸さんとH0ゲージを走らせよう!

8月19日(日)・9月16日(日)・10月7日(日)
10:30~11:30、14:00~15:00

移動講座

① 昔の避暑地をめぐる夏のバスツアー 8月12日(日)
※要申込 ② 古地図を持って出かけよう! 9月23日(日)

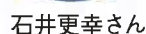
文化庁 平成30年度 文化庁
地域と共創した美術館・歴史博物館創造活動支援事業

袖ヶ浦市郷土博物館

●開館時間: 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
●休館日: 月曜日・祝日の翌日
月曜日が祝日の場合は開館

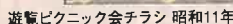
〒299-0255 千葉県袖ヶ浦市下新田1133 TEL 0438-63-0811 FAX 0438-63-3693

石井更幸さん(いしいのぶゆき:のぶちゃん)は、袖ヶ浦市の一市民です。ちょっとだけ変わっていたのは、幼いころから郷土博物館が大好きだったこと。そして、生まれた時から髪や肌の色が真っ白だったことです。これがアルビノという先天的な病であることを、のぶちゃんは大人になってから知りました。この病気はのぶちゃんに、きれいな水色の瞳とともに、弱視という試練を与えたので、少年時代ののぶちゃんは、学校の黒板や何もかもが見えにくく、限られた世界の中で生きていました。ところがある日、お母さんに連れられて行った博物館で、世界が広がるような体験をしたのです。



首都東京から気軽に身近なリゾート地として一時代を築いた房総の交通や観光をめぐる人びとの熱い息吹と、それ以上に熱いのぶちゃんの「そではく愛」をお楽しみください。

「南総鉄道沿線御案内」 南総鉄道株式会社

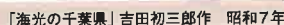


明治の開通から、瞬く間に全国に広まった鉄道網。そして乗合自動車や汽船の航路も整備され、江戸時代までの徒歩の旅が嘘のように便利になり、庶民の間にも旅へのあこがれや旅ブームが広がっていきます。そんな旅への思いをかきたてる、時刻表や旅行案内などをご覧ください。



「総武成田線汽車発着
並賃金表」明治30年

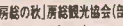
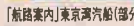
大正から昭和初期にかけて、鳥の視点（バース・アイ）で地上を捉えた鳥瞰図が、旅行案内などに多用されるようになります。その第一人者として名高いのが大正の広重と呼ばれた吉田初三郎。詳細な筆致と華麗な色使い、必ず描かれる富士山やはるか外国まで横長の画面に書き込む作品は圧巻です。今回、千葉県を描いた三部作「海光の千葉県」「霊場の千葉県」「情味の千葉県」の3点が勢ぞろいしています。そして千葉県を拠点に活動した地図製作者峰庫治。更幸さんは、峰庫治作「千葉県の観光と物産」との出会いがコレクションのスタートだったとか。こちらも見ているだけで楽しくなる千葉愛にあふれた大作です。



首都東京から近いのに、自然もいっぱいな房総。海水浴や潮干狩り、ハイキングなど、特に夏のレジャーは盛況。おいしい空気、おいしい食べ物、何より東京から1・2泊でこの別天地! 寄ってらっしゃいお客さん! 霊験あらたかな成田山、日蓮上人霊跡や格式高き香取神宮、ありがたいお寺や神社も目白押し! 房総の魅力をこれでもかと見せつけてくれるパンフレットや旅行案内など、お弁当シリーズも必見!



昭和10年頃から戦争の影がリゾートにいざなう房総の観光案内などにも影響を及ぼしてきます。要塞である東京湾を描いた地図の刊行には要塞司令部の許可が必要であり、戦況が悪化するにつれ、観光・旅というムードは世の中から一掃されてしまいます。そして、終戦。戦後の復興が軌道に乗った昭和30~40年代、人びとの足は再び観光地をめざすのです。一方で、長き年月に渡り内房地区に恵みと繁栄をもたらした海は、次の時代の使命のために埋め立てられていきました。



鉄道開通からはじまった大量輸送の時代、20世紀。東京湾アクアラインでつながった海の道は新たな時代の象徴でもあり、失われたものを回顧するきっかけにもなりました。変わってゆくものがあればこそ、変わらないものもまた輝く。古いものを手にすることは過去の輝きを懐かしむだけではなく、今を生き、未来を創るための地図探しでもあるのです。のぶちゃんも、私も、みなさんも、地図を片手に人生という旅を続けます。これからも、ここをふるさととして…。

歩いて5分の根形公民館図書室には、9月1日から企画展「関連図書コーナー」を設けます。公民館の近くには下新田のバス停があるので、ロビーでひと休みしながらバスを待つのもよし♪

そではく、
「行ってみようマップ」を
用意しています。
バスの時刻表もついて
安心♥さあ、地図を
片手に行ってみよう!